

シアトル別院時報

35巻 1月号

2016年度教化標語
まことの人生を歩もう



『七昼夜』

関谷沙羅師



皆様、あけましておめでとうございます。2016年がはじまりました。今年もどうぞ一緒に、よろしく願いいたします！

お正月はどのように過ごされましたか。ご家族で過ごされた方が多いことでしょうか。日本では色々なところに初詣に行ったりして、お正月は朝から晩まで忙しい！という方も少なくありません。（ちなみに、私はこれまで2日3日はお正月の風物詩ともいえる箱根駅伝を朝から真剣に見ていたので、今年からどうやって応援したらよいのか分からず途方に促されています！）

さて、前回もお話ししたのですが、浄土真宗の私たちにとって1月は、親鸞聖人のご祥月命日の16日を縁に営まれる最大の年中行事、御正忌報恩講法要がご本山でお勤まりになる月であります。1月9日から16日までの七日七夜勤められることから、お七昼夜[しちちゅうや]と呼ばれることもあります。一般のお寺ではご本山の時期とずらし、その前の秋位から報恩講が勤まる事が多く、「お取り越し」や「お引き上げ」と呼ばれたりします。

御正忌報恩講では両余間に親鸞聖人のご生涯を絵にした「御絵伝」[ごえでん]が掛けられ、13日の初夜（午後3時半のお勤め）にはそのご生涯が「御伝鈔」[ごでんしょう]として拝読されます。毎朝のお晨朝では『往生礼讃』が勤まり、いよいよの大速夜[おおたいや]である16日のお晨朝は、正信偈三種の内の一つであり、ご本山でのみ一年に一度だけ勤まる真譜[しんぷ]が唱えられます。

報恩講は浄土真宗の教えを開いて、私たち万人が救われる道を説いてくださった宗祖親鸞聖人のご遺徳を偲ぶとともに、浄土真宗の信者としての自覚を新たにす、一年でもっとも大切な法要です。特にご本山では全国から門信徒の方や僧侶が多数参拝し、行事が目白押しです。そういう意味では、浄土真宗の信者にとってお正月は、大切な御正忌報恩講がいよいよ近づいてきているという

1月の予定

- 1日 10時 修正会・元旦法要
事務所休み
- 3日 10時 家族法要
10時45分 日本語法要
- 10日 10時 家族法要・子供法要
10時45分 日本語法要
12時 別院新年会
- 17日 10時 報恩講法要
10時45分 日本語プログラム
- 24日 10時 家族法要
10時45分 日本語法要
- 31日 10時 家族法要
10時45分 日本語プログラム
- 7日 1時半 日系マナー法要
- 21日 1時半 日系マナー法要
- 26日 10時半 敬老ホーム法要



気持ちで迎える時期ともいえましょう。

親鸞聖人が尊いお念仏の教えを遺して下さったことに感謝し、お示し下さった阿弥陀様のご本願を仰いで、そのみ教えを拠りどころに人生を歩むように、この何よりのご勝縁の報恩講法要に、心も新たに参拝させていただきましょう。 南無阿弥陀仏



会長の挨拶

別院理事会 会長 森久保ゆきお

新年おめでとうございます。

新しい年を迎え、別院理事会の役員が決まりました。おめでとうとありがとう！
このように献身的な、適任の方々に私たちは幸運です。お願いします。

勿論役員だけですべては出来ません、私たち各自が別院のために出来る範囲をすることが大切です。それは別院のために時間、寄付、体力で支援することです。そして別院の趣旨に従い、仏教の教えを広め、保護し、シェアすることです。

シアトル別院はあなたが支援する値打ちがありますか？私たちは日毎、地域社会の生活の向上に貢献し、私たちの子供たちや孫たちにこの教えを伝えていく事を任せられました。

私と一緒に、別院のためにステップ・アップして下さった新役員に感謝しましょう。合掌、

2016—2017年別院理事会役員

会長	星野アラン
第一副会長	寺田キャルビン
第二副会長	守口タイラー
第三副会長	久保田ケン
書記	ナカシマ・クレグ
通信書記	オジマ・ステッフ
会計	ルーク・ハワード
会計監査	寺本マイケル
会計監査	トサヤ・ジュリアン
会計監査	竹田スージー

2016年法事予定

故人の面影をしのび、感謝すると共に、故人の命日を縁として、家族が仏法に触れる機会です。

* 法事のご要望は別院事務所までご連絡下さい。206-329-0800.

亡くなった年

2015年	一周忌	1年目
2014年	三周忌	2年目
2010年	七回忌	6年目
2004年	十三回忌	12年目
2000年	十七回忌	16年目
1992年	二十五回忌	24年目
1984年	三十三回忌	32年目
1967年	五十回忌	49年目

お正月パーティー

来年のお正月パーティーは1月10日1-3時です。お弁当のチケットが日曜日に売り出されています。平日は事務所までお尋ねください。チケットは15ドルで別院メンバーで80歳以上の方はサインアップされれば無料です。子供のランチは7ドルで5歳以下は無料です。チケットが必要です。

サーモン・ディナー

今年のサーモン・ディナーは3月19日です。この日を取っておいて下さい。サーモン以外のチョイスもあります。2月末にチケットが各会員に郵送されます。これは別院にとって大切なファンドレイズです、皆さんサポートなしでは出来ません。送られたチケットはお寺に帰さないで、ご家族、ご友人に売ってください。事務所には追加のチケットもあります。

チケットがくるのをお待ちください。いつまでにチェックを送っていただくかも同封の手紙にあります。材料のオーダーがありますのでこの期日はとても大切です。皆様のご支援をお願いします。

ウォークイン冷蔵庫

お寺のウォークイン冷蔵庫の傷みがはげしくフード衛生面の安全のために、新しいユニットに変える事が決まりました。現在の冷蔵庫の資材が天井にバブルを作り、茶色の液を落とす結果となっています。新しいユニットのプロジェクトは中の取り壊しが12月より始まりました。すべて終わるのに2ヶ月かかり3月のサーモン・ディナーまでの3月の始めに終了の予定です。完了まではキッチンの冷蔵庫を使うことになり、スペースが少なくなります、不必要なものを放置しないようにお願いします。

1、フリーザーのプラグがウォークイン冷蔵庫と同じだったので外しました。フリーザーに入っていたものは冷蔵庫に移す、棄てる、他の場所に移す、などしました。フリーザーの一時的な場所を探しています。

2、1月には下水道を配管する工事が始まります。これはウォークインの外からお米洗いの部屋までのコンクリを壊さないといけません。この付近は立ち入り禁止となります。

資金管理について

資金管理コミティーは別院のエンダウメント・ファンドなどの資金を管理します。毎年の利益はお寺の維持費、工費などに使われます。お寺の維持費は毎年赤字です。このファンドによりまかっています。

2015年も末になりました、エンダウメント・ファンドにご寄付をご考慮ください。寄付は現金、株などをお願いします。寄付はすべて免税です。またエステート計画などされていまして別院もお書き添えください。

コミティーより、ご寄付を頂いた方々に感謝いたします。皆様の新年が幸多きことを念じております。

合掌、 中野クレグ

婦人会便り

11月には総会・慰労会が催されました。会員皆様の変わらぬご支援に感謝します。皆様のご支援なくしては婦人会は成り立ちません。

BWAの献身的なメンバーであった青山さえこ夫人が亡くなられ、会員の多くは深い悲しみに包まれました。ご家族の皆様へご逝去を悼み、慎んでお悔やみ申し上げます。



婦人会メンバーのおられる敬老ホーム、日系マナー、その他のアシストホームにティッシュのボックスのギフトを届けました。敬老ホームでの法要はとても穏やかでお寺のメンバーやその他のレジデンスがお焼香される姿はとても感動的でした。

11月にはBWAメンバーでオライオンセンターに食事のサービスにゆきました。ここにはホームレスの若者たちが集まっており食事だけではなくカウンセリングや教育補助などを提供しています。若者たちはおなかをすかせておりとても感謝しています。また冬の寒さからマフラーや帽子などが必要です。ワ大学付近でもそのようなセンターがあります。この食事の費用をサポートしていただいております。お陰でこれからも食事の提供が出来ます。

1月の予定

10日 新年会（チケット必要）

31日 BWA 理事会会議

2月 12-14日 西北部仏教徒大会 オンタリオ、オレゴン

第69回西北部仏教徒大会

2016年2月12-14日 オンタリオ・オレゴン仏教会主催

“Seeking the True and Real”

このたびの大会では梅津総長をはじめマーク・ブルーム博士、NWのミニスターが参加しウォークショップやアート・プロジェクトが計画されています皆さんぜひ参加しましょう。

参加費

大人	110ドル	バンクエットだけ	45ドル
ユース・生徒	80ドル	日曜弁当	12ドル
子供	60ドル		

締め切り 1月15日（締め切り後の申し込みはスペースがあれば受付け15ドル増し）

キャンセルは1月31日までは全額、その後は半額返金

申し込みはお寺ごとですから所属の団体または別院事務所までおたずね下さい。

ピンポンゲームのトーナメント申し込みもあり。

ホテルの予約は各自にて。ホテルの詳細を各団体の責任者が別院事務所までお尋ねください。

*多くの写真や記事が英語面にあります。日本語面は紙面の数に限りががあります英語面をご覧ください。

日本語会員の皆様

お気づきのことなどお知らせ下さい。今年もよろしくおねがいします。 日本語面編集 和田まちこ

